

2019年(令和元年)6月6日(木曜日)

日刊自動車新聞

190606

社内運動会 今年も熱い闘い

東京オート

東京オート(中村浩志社長)はこのほど、小山市の栃木県立県南体育館で「第3回社内運動会」を開催した。健康増進と社員同士のコミュニケーションの活性化などを目的に従業員約160人が参加、チーム対抗により全競技11種目を取り組んだ。



新種目に採用した「ドッチビー」の模様

行い熱戦が繰り広げられた。社内運動会は同社が掲げる健康経営の一環として、3年前より実施している。今年から企画・運営を外部の専門業者を使わずに各拠点から集めた運動会委員が担当し、前回のアンケートや意見を集めてプログラムを設定するなど社員がより主体となって行事に

健康増進、コミュニケーション活性化

種目の見直しでは、前回の「ドッチボール」をより安全性を高めるため、ボールでなくわらかいフリスビーを相手に当てる「ドッチビー」を採用。また、余興では、上位の3チームを予想する優勝予想を取り入れるなどして盛り上がった。9チームで争った結果、上位3チームは1位Ⅱ結城店、2位Ⅱ小山店、3位Ⅱ上三川店および喜沢店(同一順位)となった。

同社は今年、経済産業省が実施している健康経営に取り組み優良な法人を選定する制度「健康経営優良法人2019(大規模法人)」に認定されており、中村社長は「日頃の健康への取り組みや運動会の実施が認められたのではと思う」としている。運動会は同社の全従業員が集う機会のうち、経営方針を共有する「ビジネスミーティング」、技能を披露する「技能コンクール」と並び、「心・技・体」が実現する社内行事の一つと位置づけており、今後も働きやすさややりがいをもって主体的に働ける環境づくりに取り組む考え。(宇都宮)